

桜蔭会 千葉支部便り

第40号 発行所

桜蔭会千葉支部

〒277-0832 柏市北柏 2-14-13

Email: ouinkai.chiba2025.spring@gmail.com

楽しく支部活動していきましょう!

千葉支部長 吉原 弓賀(平成元 国文)

今年の4月に新たに千葉支部長に就任した吉原弓賀(よしはらゆか)です。どうぞよろしくお願い致します。出身は茨城県取手市で、常磐線で都内に通学・通勤していたので、東葛地区は地元と自負しております。

恥ずかしながら、就任するまで全く知らなかったのですが、千葉支部では役員の任期は2年間で、2年ごとに3地区の持ち回りとしています。3地区とは①千葉・銚子・房総②船橋③東葛です。今期は東葛地区の担当ということで、柏市在住の私のところにも昨年9月に支部役員のお誘いの電話がありました。私は、その頃ちょうど盲腸の手術を受け入院中で、リクレーターの旧役員の方は、家電に2回メッセージを残されていて、3回目で出なかったらもう諦めようと思っていたそうです。ところが、退院して家に戻った私はうっかり電話に出てしまい、外に出てきた開放感で多少テンションも上がっていたのでしょう、気がつけば役員を引き受けることに同意していました。

大学卒業後、桜蔭会の本部・支部活動に参加した経験がほとんどないことが不安だったのですが、いざ活動を始めると私の心配は無用でした。役員経験者の方が色々ご手配、

ご指導してくださり、新役員の皆様も決まったことを肅々と進めてくださっています。もちろん活動の準備には手間もかかりますが、無理をせず楽しくやることを目指しています。

4月に同窓会コモンズで行われた総会も講師の多賀先生を始め、出席の皆様のお話がとても興味深く楽しい会でした。特に衝撃を受けたのは大先輩平田様の『梁山泊(りょうざんぱく)』というお言葉です。ご自身がお仲間と熱い議論を交わした大山寮での生活を『梁山泊』と表現されたのですが、当時のお茶大生の志の高さや勉学に対する熱意、同寮生に対する尊敬や思いやりが一気に伝わってきて、写真の中の彼女たちのエネルギーに圧倒される思いでした。

10月には秋の文化活動として我孫子・手賀沼の文学散歩を企画しております。白樺派に興味がある方もない方も散歩とお食事を一緒に楽しみませんか。役員一同、当日の好天を祈りつつ皆様のご参加をお待ちしております。



支部総会報告

2025年4月20日(日)午前10時20分より、お茶の水女子大学国際交流留学生プラザ4階「同窓会コモンズ」にて、千葉支部総会をオンラインと併用で開催いたしました。講演会・総会には支部会員60名(会場43名、オンライン17名)の参加があり、県外からも4名の参加をいただきました。

◇総会

- 1 支部長挨拶 石井克枝氏
- 2 桜蔭会会長挨拶 高崎みどり氏
- 3 議事

① 2024年度事業報告

- ・4月 露久保美夏氏 講演会
- ・9月 支部便り39号発行
- ・10月 お茶大構内と音羽の谷散策

② 2024年度会計報告

③ 2024年度会計監査報告

④ 2025・2026年度新役員の選出・承認

⑤ 2025年度事業計画

- ・4月 多賀幹子氏 講演会(2頁参照)
- ・9月 支部便り40号発行
- ・10月 秋の文化活動

⑥ 2025年度予算



懇親会の様子:グループごとに出たお話を発表していただきました。

◇懇親会

初めに平田宏子様(昭和36 国文)から、当時の学生生活について貴重なお話をいただき(3頁参照)、くじで分かれたグループごとに昼食をとりながら歓談、全体で共有しました。参加された方々から「年代は違っても、同じお茶大の門をくぐった同窓の方々と、なんと心地よいことか!」「先輩方のお話を伺い元気が出ました。」「知り合いがいなかったのが不安でしたが、とても楽しかったです。すぐに打ち解けることができて、話し足りないぐらいでした。」「毎回素敵な出会いがあり、来年も楽しみにしております。」との声が寄せられました。

2024年度 決算報告書(2024.4.1~2025.3.31)

単位:円

経常収入		経常支出	
受取利益	38	機関誌発行費	147,766
支部会費	131,000	講演会等事業費	60,829
支部総会会費	148,500	支部会議費	7,300
雑収益	14,632	雑費	1,035
支部助成金	161,100	旅費交通費	37,092
		事務費	159,062
		支部総会費	238,052
経常収入計	455,270	経常支出計	651,136
前年度繰越金	1,902,397	次年度繰越金	1,706,531
合計	2,357,667	合計	2,357,667

[会計] 山口三保・清水真由美

[会計監査] 大蔵みどり



講演会記録「英国女王の品格」

講師 多賀幹子氏 (ジャーナリスト 昭和47 国文)

今回は、フリージャーナリストとして英国王室の取材をされている多賀幹子氏をお招きし、「英国女王の品格」と題してご講演をいただきました。

☆講演要旨

最も人気のある君主として世界中から敬愛されたエリザベス二世の人生をあまり耳にすることないエピソードとご自身の経験を交えてお話を伺いました。

女王として即位する運命を受け入れる

エリザベス女王生誕からその長い在位期間を、世界情勢をからめて紹介。

伯父であるエドワード八世の突然の退位により、エリザベスの父がジョージ六世として即位、長女のエリザベス王女が第一位の王位継承者となった。父王から次期の国王としての覚悟を要請され、葛藤はあったが王位継承者としての運命を受け入れる。夫となるフィリップ殿下との出会いや、父王の突然の死と即位までの逸話を紹介。育児中のエリザベスの即位には反対の声もあったが、首相チャーチルはエリザベスに女王としての素質ありとし、エリザベス女王在位期間初の首相ともなった。

国際社会において英国王室は歴史的な地位を有しており、かつての植民地であり現在国力が上回るアメリカ合衆国との関係は興味深い。アメリカ大統領は就任後、英国国王に挨拶に訪れるのが慣例となっているとのことで、訪れなかった大統領はジョンソン大統領だけ。

本当の愛国主義とは他人の愛国主義を理解すること

「英国は女王の時代に繁栄する」と言われている。英国の女王、エリザベス一世、ビクトリア女王、エリザベス二世は皆長寿で知られている。戦争より平和を好むということか。

そして最も人気のある君主がエリザベス二世。ご本人にスキャンダルがない、ということも大きな理由だとのこと。

エリザベス二世の神髄、ユーモア

オーストラリア・ニュージーランドを君主として訪問した際、女王に卵が投げつけられるという事件が起きた。当時のニュージーランドの社会情勢なども背景にあったらしいが警備や関係者が心配する中、晩餐会のスピーチで女王は「私はニュージーランドの卵が大好きです」と述べた。ユーモアをもったの周囲への気配り、素敵な逸話である。

女王として

報道で目にする女王のファッションはとてもカラフルな印象があるが、実は赤や、黄色、青など鮮やかなワンカラーで統一されている。そして、前開きのコートを愛用され、歩くとき色が踊るよう、とメディアに表現されたそう。目に楽しいファッションは国民に喜んでほしいとの気持ちから。

多賀氏自身が、女王陛下に直にお目にかかる機会があったとき、直接お話しは出来なかったが、強いオーラを感じたそう。

健康について

女王の生活は朝起床するとカーテンを開けて日光を浴びることから始まる。BBCを聞きながらアールグレイを召し上がり、その後入浴。朝食には野菜とタンパク質を取り、女官が着用する服を持ってきて一日が始まる。ルーティンと気持ちの切り替えを大切にされ、特に精神的健康を重視された。動物と触れ合うことがお好きで犬を飼っておられた。動物が好きな理由は女王として気を遣うことがない、とのことで女王の気苦労がうかがえる。

日本との関係:違いを言うより共通点を見ていく

エリザベス二世は1975年に一度だけ日本を訪問している。戦後30年を経てなお戦中のビルマ戦線などの記憶もあり、反対の声も上がる中を押しての訪日だったそう。そしてスピーチで日本と英国の共通点を色々挙げた。大陸のそばの小さな島国、好奇心が強い国民性、文化・歴史が長い、庭造り・お茶が好き、性格がシャイ、車が左側通行。違いを見ていくより共通点を見ていくことの大切さをお話しになったとのこと。

☆講演を聴いて

私たちは英国王室やロイヤルファミリーについて雑誌やニュースでよく目にします。

この度の多賀氏のご講演は、エリザベス二世の気品の源について、色々気づきの多い内容でした。普段の生活を律し健康に気を付けること、周囲への気配りとユーモアを忘れない、物事をポジティブに受け止めること等々は、私たちにとってもこれからの人生を豊かにするヒントが多く含まれていました。参加者からは「漠然としか知らなかった英国王室に親しみを感じた。イギリスに行ってみたくなった」などの声をいただきました。

☆講演後、会場(Zoom含む)からの質問

日本は女性天皇を認めていないが、という質問には

「現在のヨーロッパ王室では王位継承は長子優先であり、そのように決まった後、各王室の第一子はデンマークを除き女子が生まれている。21世紀は女王の時代でしょうか」と述べられました。(木原尚子)



左: 多賀氏著作「英国女王が伝授する70歳からの品格」から抜粋。
右: エリザベス女王のファッションは、ワンカラーが特徴です。

大先輩のお話

総会懇親会にて平田宏子様より、入学から卒業までの当時の学生生活についてご紹介いただきました。大山寮での仲良し5人組! そのつながりを今も大切に交流していらっしゃる事、総会参加者も映像をみて自分自身の学生時代を思い起こし、時代の流れを感じながらお話に聞き入りました。当日のパワーポイントの写真ををご紹介します。



～遙かなる日々～ 平田 宏子(旧姓中村) 1961年(昭和36)国文



1958 東京タワー完成
1959 伊勢湾台風
1960 国民所得倍増計画
1961 ソ連・人類初の宇宙飛行
1962 キューバ危機



近頃の私



☆☆ 4月にお寄せいただいた近況の中から、一部をご紹介します。☆☆

◆フォークダンスや仲間との「おしゃべり」で今のところ、元気にしております。 松尾凉子(昭和36動物)

◆コントラクトブリッジ、卓球を週に2回、エッセイの会に月に1回参加しております。 丸山八重(昭和37数学)

◆趣味の謡曲、小鼓を楽しんでいます。

前田宏子(昭和41英文)

◆最近はウクレレを弾いたり、近くの温泉に週2回程行っています。 武本敦子(昭和45体育)

◆J・ジョイスの研究を続けています。昨秋、9名の共著論集『愛と笑いと革命の「ユリシーズ」』が出版できました。毎週、広池ヨガで体力を維持しています。

福岡眞知子(昭和47英文、49院英文)

◆先日リニューアルされた〈ひめゆりの塔〉に行って来ました。戦前に女高師を卒業された桜蔭会沖縄支部の方々が記念館設立のためご尽力なされた事を知り、感無量でした。 山城洋子(昭和48哲学)

◆柏自主夜間中学でスタッフをしています、海外ルーツの生徒さんが増えてきているのに、スタッフが高齢化し不足しています。関心のあるかたは、ご連絡ください。

田嶋眞知子(昭和49生物)

◆NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会の活動の総務部を担当しています。若い方募集しています。

河井恵子(昭和50教育)

◆附属高校茶道部と大学の裏千家茶道部 OG 会のコーチをしております。OGの方、よろしかったら、大学のお茶室にどうぞお出かけ下さい。 佐野信子(昭和53史学)

◆今月、完全に退職しました。11月に「女声合唱団うみ」の演奏会を千葉市文化センターで行います。ご興味のある方、ぜひおいでください。 國分淳子(昭和54化学)

◆柳澤桂子氏の『母なる大地』(2004年刊)を読んで、環境問題について、孫の世代のために自分にできることをしないといけないと思いました。

佐久間好美(昭和58国文)

◆家庭、学校、職場、介護の場面…、あらゆる場で大切な人間関係についてのワークを各地でやっています。

村上志保(平成元心理)

◆児童学科で学んだことを生かせる仕事に就き、非常勤ではありますが続けております。この春、息子が大学を卒業して教育費から解放されて、子育ても一段落です。自然の移ろいを感じながら、日々穏やかに暮らしていけることに感謝しています。

宇賀由起子(平成3児童)

◆県立特別支援学校で事務長しております。県公務員からの出向ですが、結構楽しんでおります。

古賀菜穂子(平成6児童)

◆3月に結婚しました。名字と住所が変わりました。引き続きよろしくお願いいたします。宮澤知香(平成31人間生活)



2024 年度 秋の文化活動 報告

お茶大構内と音羽の谷の散策一昔の川跡をたどる 10月6日(日)実施

文京区大塚や小日向といった地域は、武蔵野台地の東端に位置し、神田川やその支流の谷に刻まれ、アップダウンの大きい地形となっています。お茶大の中も高低差があり、階段や坂道を上り下りしながら、構内を散策しました。正門から続く並木道や徽音堂、大学図書館や食堂などはほとんど変わらぬ姿でしたが、新しい学生寮「音羽館」は今風のおしゃれな建物で、ミニキッチンが付いた個室とのこと。昭和の大山寮や学内寮との違いに、ひとしきり話が盛り上がりました。「お山の上」と呼んでいた高所には、茶室や学生会館、その西側は新しく開設された共創工学部の研究棟が見られ、時代とともに大学も変化しているを感じます。さらに北側の崖下には、以前と変わらぬ体育館やテニスコート、グラウンドがありました。周辺の草地は構内のこども園の良い遊び場となっていたそうです。



昼食は国際交流留学生プラザで、仕出しのお弁当とお茶をおいし

くいただきました。「皆さんとお話できるのが楽しみ」と午前中から部屋でお待ちいただいた方々も含め、ひとりずつ近況報告をして、楽しいひと時を過ごしました。午後は大学を出て、音羽の谷を流れていた水窪川の上流から、昔の川跡(現在は暗渠になっている)をたどりました。特別参加の現役大学院生(兼博物館学芸員)には、護国寺の門前町である音羽通りの歴史について解説してもらいました。



参加者からは、「大学の構内や音羽の谷を歩くことで、新しいことを知り、より身近なものになってきました」「皆さんの元気で活動的な様子を拝見して、もうひと元気出そうという気持ちになりました」などの感想をいただきました。今回午前・午後と留学生プラザの部屋をお借りしたことで、時間に追われず、体調に合わせて行事を進めることができたように思います。ご協力ありがとうございました。(八木令子)

参加者からは、「大学の構内や音羽の谷を歩くことで、新しいことを知り、より身近なものになってきました」「皆さんの元気で活動的な様子を拝見して、もうひと元気出そうという気持ちになりました」などの感想をいただきました。今回午前・午後と留学生プラザの部屋をお借りしたことで、時間に追われず、体調に合わせて行事を進めることができたように思います。ご協力ありがとうございました。(八木令子)

秋の文化活動へのお誘い

～文化人たちに愛されたまち 白樺派ゆかりの我孫子を訪ねる～



白樺文学館

大正時代から昭和初期にかけて、我孫子には、嘉納治五郎・柳宗悦・志賀直哉など多くの著名な文化人が別荘を持ちました。秋の手賀沼の風を感じる文学散歩…ぜひご参加ください。

日時: 10月5日(日) JR 我孫子駅改札出口10時集合 手賀沼公園14時30分散

参加費: 2,500 円 (白樺文学館入館料、保険代、昼食代) 雨天決行

A コース 約2.5キロ 白樺文学館をゆっくり見学します。

我孫子駅(スタート)→嘉納治五郎別荘跡→白樺文学館→志賀直哉邸跡→

夢庵(昼食)懇親会→手賀沼公園(ゴール) ※昼食懇親会后、手賀沼公園・我孫子駅へバス移動可。

B コース 約5キロ 旧村川別荘と子の神大黒天にも立ち寄ります。

我孫子駅(スタート)→嘉納治五郎別荘跡→白樺文学館→志賀直哉邸跡→

旧村川別荘→子の神大黒天→夢庵(昼食)懇親会→手賀沼遊歩道→手賀沼公園(ゴール)

問い合わせ: ouinkai.chiba2025.spring@gmail.com お申し込み: QR コード または左のメールアドレスまで



お申込み↑

2025 年度 役員・地区委員・代議員					
役員			地区委員		
支部長	吉原 弓賀	H01 国	千葉・	嶋田 美恵子	S44 数
副支部長	福本 朋子	S59 数	房総・	庄司 美佳	S63 舞踊
書記	木原 尚子	S58 院化	銚子地区	清本 智美	H06 生
	橋口 秀子	H01 数	船橋地区	早川 好江	S54 児
会計	藤川 節子	S60 英	東葛地区	戸澤 一恵	H02 児
	目崎 直子	S62 史		仲田 郁子	S56 被
会計監査	中村 尚美	H01 食	窪田 友子	S60 家経	
代議員					
東葛地区	吉原 弓賀	H01 国	千葉地区	河井 恵子	S50 教
	窪田 友子	S60 家経	船橋地区	石井 克枝	S48 食

支部会費納入のお願い

2025・2026 年度の支部会費を下記要領で納入お願いいたします。尚、支部会費は卒業後 55 年で完納になります。

昭和 45 年卒までの方 : 完納です。納入不要。

昭和 46 年卒の方 : 1,000 円 納入をお願いします。

昭和 47 年卒以降の方 : 2,000 円 納入をお願いします。

問い合わせ先: ouinkai.chiba2025.spring@gmail.com

口座: ゆうちょ銀行/019(ゼロイチキュー)店

/当座 0020 264/桜蔭会千葉県支部

◇ 編集後記 ◇

今年から支部役員となり、ドキドキしています。皆様に楽しんでいただける活動や、お便りをお届けしたいと思っています。(木原・橋口)